

(別紙)

【監督コメント】



三木則夫 MIKI Norio

オランダで開催された CPEDI3★は、4人の日本代表候補選手を決める最後の砦となる予選会となりました。選手の実力は確実に上がり、東京パラリンピックにおいて勝負ができる可能性を得ています。また、各選手がお互い同士を助けたり、励まし合ってサポートする姿を見ていると、着々とチームワークも良くなっていることも実感できています。ここから本番となりますが、馬の力を発揮して本大会で最高のパフォーマンスを出せるよう、個人・チーム力を高めていきます。

【候補選手コメント】



宮路 満英 MIYAJI Mitsuhide

クラス:グレードII

鹿児島県出身

1957年10月29日生まれ

右上下肢機能障がい

体幹機能障がい

2016年リオパラリンピック出場

リファイン・エクインアカデミー所属
(株)セールスフォース・ドットコム勤務

最終予選会が終わり安堵感もありますが、日本で応援していただいている方々や全ての関係者の皆様に最大限の感謝の気持ちを伝えたい。リオデジャネイロ・パラリンピックで出場した時は100%の力を発揮できなかったのですが、東京パラリンピックでは自身が納得できる最高の演技で入賞を目指します。



吉越 奏詞 YOSHIGOE Soshi

クラス:グレードII

東京都出身

2000年8月7日生まれ

脳性麻痺

2018年FEI世界馬術選手権出場

アスール乗馬クラブ
日本体育大学所属

最終予選会は久しぶりの競技会でしたが、冷静な心持ちで臨んだ結果、パフォーマンスを発揮できたと感じています。東京パラリンピックは、馬の良いところを引き出して、パラ馬術における馬の美しく華麗な演技でメダルを狙います。



稲葉 将 INABA Sho

クラス:グレードIII

神奈川県出身

1995年5月23日生まれ

先天性の脳性麻痺による

両下肢麻痺の障がい

2018年FEI世界馬術選手権出場

静岡乗馬クラブ所属
シンプレクス(株)勤務

新型コロナウイルス感染症の影響で東京パラリンピックが1年延期となり、日本代表を選考していただく大会の開催も出場できない状況でしたが、最終予選会に出場させてもらったことに感謝いたします。本大会までの残り少ない時間を更に集中して充実した期間と位置づけ、馬の潜在能力を最大限に引き出して最高の演技をしたいです。



高嶋 活士 TAKASHIMA Katsuji

クラス:グレードIV

千葉県出身

1992年12月2日生まれ

右半身麻痺・高次脳機能障がい

2018年FEI世界馬術選手権出場

ドレッサー・ジュ・ステーブル・テレイ所属
コカ・コーラ ボトラーズジャパン
ベネフィット(株)勤務

最終予選会の出場に際して、最後のチャンスを与えていただいたことに感謝いたします。オランダで練習をこなしていく過程で、馬とのコミュニケーションが深まりコンビネーションも次第に向上していきました。競技前は心に余裕が生まれ、人馬一体となって演技できました。東京パラリンピックに出場する全ての人馬の環境は一緒です。良い演技を皆様に見せられるように頑張ります。